



連合愛知は第37回定期大会を10月28日(火)の13:30より岡谷綱機名古屋公会堂にて開催します。今大会では「仲間の力を合わせ安心社会を築こう～働く人や地域の頼りになる存在へ～」をスローガンに、2026～2027年度活動方針や予算などを審議決定します。

事前討議に本かわら版をご活用いただきますようお願いいたします。

第1号議案

2026～2027年度活動方針(案)

仲間の力を合わせ安心社会を築こう ～働く人や地域の頼りになる存在へ～

◆取り巻く経済・社会・雇用情勢

■経済・社会

世界では、ロシアとウクライナ、中東ガザ地区などにおける戦争・紛争の終結が見通せず、北朝鮮や台湾問題など東アジアにおける緊張も高まっている。米国・トランプ政権の関税政策は国際社会に混乱を生じさせており、米国経済の動向、米中による貿易戦争の激化などによって世界経済が減速するリスクが高まっている。

日本経済は、好調な企業業績やインバウンド需要の伸長により回復を続けてきたが、米国の関税強化措置発動による影響の幅と深さは不透明で、関連企業の収益悪化やサプライチェーンの見直しによる雇用への影響が懸念される。また人手不足による企業倒産が増加している。急速に進む人口減少・少子高齢化、社会保障制度の持続可能性、貧困や格差の拡大など構造的な課題解決は先送りされ、将来不安が解消される道筋は見えていない。加えて、気候変動による猛暑や激甚化する自然災害が生活に直接的な影響を及ぼしており、持続可能で安心して暮らせる社会の実現が求められている。

■雇用・労働

春季生活闘争は、2024年から2年連続で定昇込み5%台の賃上げが実現した。賃上げの流れは着実に広がっているものの、賃上げが物価上昇に追い付かず、引き続き物価高が家計に重くのしかかっている。とりわけ生活困窮層や非正規雇用で働く人々に深刻な影響が及んでおり、最低賃金の引き上げや社会的セーフティネットの強化が不可欠である。

D X(デジタルトランスフォーメーション)やG X(グリーントランスフォーメーション)の加速、生成AIの活用が私たちの働き方に大きな変化をもたらしており、効率性や新たな価値の創造の可能性を広げる一方で、雇用の代替やスキルの格差といった課題を抱えており、就労支援やリスクリングに対する財政支援が必要である。

日本のジェンダー平等に関する取り組みは先進国と比べて遅れをとっており、管理職の女性比率は依然として低く、男女間賃金格差、家庭内での育児・家事負担の偏りも課題となっている。あらゆる場面においてジェンダーの視点を入れるとともに、企業文化や社会通念の改革につながる取り組みが不可欠である。

■愛知県の状況

県は米国関税措置の影響を受ける中小企業への支援強化に向けた対応を強化するほか、「カスタマーハラスメント防止条例」を6月県議会で可決、10月から施行するなど、地域経済や雇用に資する政策を積極的に

推進している。2026年秋のアジア・アジパラ競技大会の成功に向けて、愛知県・名古屋市は開催都市として準備が進められている。

■政治の情勢

2025年7月の第27回参議院選挙は、物価高対策が主な争点となり、自民・公明両党は、2024年10月の第50回衆議院議員選挙に続き過半数割れし、少数与党となった。一方、「手取りを増やす」を訴えた国民民主党や、「日本人ファースト」を掲げた参政党が躍進し、与野党の勢力図を大きく塗り替える結果となった。30年以上続変わらない古い政治・政策のありようや、放置されたままの社会問題に対する国民の不満や不安が高まっており、明るい将来を描くことができる政治の実現が求められる。

◆連合愛知2026～2027年度活動の基調

2024～2025年度の2年間の活動は、「働く人や地域の頼りになる存在」をめざし、働く人や地域から「共感」される活動として、生活困窮世帯や児童養護施設の子どもたちへの支援や、経営者団体やNPOなどとの社会対話から生まれた連携、地域協議会における地域に根差した顔の見える運動などの地域に対する社会貢献に注力してきた。これは、連合愛知の活動が働く人や地域の共感を得られることで連合愛知の存在価値を高め、ひいては労働組合への理解促進、地位向上に繋がる。その結果、健全な労使関係の構築や労働組合の結成を社会に広げることができ、また、働く人や地域の人々から連合の政策実現の取り組みへの理解と参画が得られることで、「働くことを軸とする安心社会」の実現を前進させることができるとの思いからである。

すべての働く人、地域社会から共感される活動は少しずつ形になってきているため、継続が必要であることから2026～2027年度においても重点的に取り組んでいく。具体的な活動としては、連合愛知の構成組織・加盟組合・組合員の働く仲間に向けた「仲間をまもり、つなぐための取り組み」と、すべての働く人、地域に向けた「誰一人取り残されることのない社会づくり」を主要な運動の柱とするともに、運動の遂行にあたっては「創意くふう」「実践・実行」にこだわり取り組む。

■仲間をまもり、つなぐための取り組み

連合愛知の組織力強化を図るため組織内コミュニケーションを一層充実させるとともに、連合愛知だからこそ出来る、構成組織を超えた関係づくりの機会や情報の提供、組合役員間交流や人材育成などを行い、連合愛知に集う仲間から頼りにされるプラットフォームづくりに努める。

ジェンダー平等参画については、労働組合における取り組みとして、女性執行委員1人以上の選出をすべての組織で2027年10月までに実現する(2025年時点:女性執行委員を1人以上選出 構成組織73.7%、加盟組合49.8%)。加えて、女性をはじめ誰もが参加しやすい組合活動の推進、愛知県と連携した「休み方改革」の推進や、働き方・活動の見直しなどによる組合役員のウェルビーイング向上に取り組んでいく。

春季生活闘争では、中小企業や非正規雇用で働く人を含めたすべての働く人の賃上げの実現、物価を上回る賃上げの流れを中長期的に継続できるよう、格差是正や価格転嫁の促進に向けて、中小労組の支援および社会的発信に取り組む。

■誰一人取り残されることのない社会づくり

連合の登録人員は700万人を下回る水準にあり、運動の基盤や持続可能性を揺るがす大きな課題となっている。連合愛知は「仲間づくり推進室」を新設して体制強化を図ったことから、今後はすべての組織における組織拡大の機運をより一層高め、「第8次組織拡大中期計画」の目標達成を目指す。

連合愛知が求める政策の実現に向けては、政党や新政あいち、各級議員との連携強化をはかるほか、実現した政策の周知・情報発信に努める。また2027年4月に施行される統一地方選挙に向けて、候補者推薦をすすめるとともに、組織内の連携強化、地協ブロック制の活動強化など準備

備を着実に進める。

地域社会貢献活動では引き続き、困っている人々への支援や地域の活性化に資する活動に取り組む。助け合い運動で集めた募金による県内の福祉施設等への援助、「ここあファーム」およびフードドライブ活動によるフードバンクへの農産物や食品の提供、児童養護施設の子どもたちへの支援などの活動を継続しつつ、地域で困っている人の役に立つ活動をすすめていく。あわせて全11の地域協議会においては、それぞれの地域での困りごとを把握し、課題解決に向けて取り組む。さらには、連合愛知や連合運動への理解や共感、参画を広げるべく、地域の関係団体との社会対話を行うほか、ホームページでの情報発信やマスコミに対する広報活動に積極的に取り組む。

わたしたちを取り巻く社会は不確実性が増しており、時代にあわせて変化する柔軟性と包摂をもちながらも核心はブレない強さを兼ね添えた、しなやかな労働運動が求められている。多くの人々が不安を抱えている今こそ、連合が目指す社会像「働くことを軸とする安心社会 まもる つなぐ 創り出す」の実現をめざし、働く仲間や生活者に寄り添う存在としての労働組合が社会的役割をより一層発揮していく時である。連合愛知・構成組織・地域協議会に集う仲間がつながり、力を合わせて安心社会を創り出していこう。

具体的取り組み方針

1. 仲間をまもり、つなぐための取り組み

(1) 組織力の強化とコミュニケーションの充実

- ① 構成組織との連携
- ② 地協活動の強化
- ③ 労働組合におけるジェンダー平等参画の取り組み
- ④ 労働運動を担う人材育成
- ⑤ 東海ブロックとの連携

(2) 賃金・労働諸条件の向上と中小企業の基盤強化

- ① 春季生活闘争の取り組み

(3) 愛知県中央メーデー

(4) 文化・レク事業

(5) 各種団体との連携

- ・ 事業団体との連携
- ・ 安全衛生センター、シニアクラブとの連携
- ・ 自主福祉活動の推進

2. 誰一人取り残されることのない社会づくり

(1) 仲間を増やす取り組み

- ① 第8次組織拡大中期計画の実践
- ② 労働相談センターの取り組み

(2) 多様性が尊重される職場・社会の実現

(3) 政策実現に向けた取り組み

- ① 政策要望書の策定と行政・自治体への要請
- ② 各級議員との連携
- ③ 各種選挙・投票率の向上

(4) ディーセント・ワークの実現

- ① 最低賃金の取り組み
- ② 労働審判員の選出

(5) 連合運動を広める効果的な取り組み(連合アクションを含む)

(6) 地域社会貢献活動の推進

- ① 連合助け合い運動・世界寺小屋運動の取り組み
- ② フードドライブ活動の推進・ここあファームの取り組み
- ③ 「地域に根ざした顔の見える運動」の推進
- ④ 大学寄付講座による労働教育
- ⑤ 大規模災害への備え・災害ボランティア

(7) 社会連帯を通じた人権・平和運動・国際連帯の推進

(8) 社会対話の推進

1. 仲間をまもり、つなぐための取り組み

組織力強化をはかるため、組織内コミュニケーションを一層充実させるとともに、人材育成、情報提供などの強化に取り組む

(1) 組織力の強化とコミュニケーションの充実

① 構成組織との連携

構成組織との双方向コミュニケーションの促進に努めるため、きめ細やかな訪問活動を通じて、各種活動への理解をはかる。加えて、執行委員非選出構成組織については、担当局長を継続配置し、個別に意見交換や活動のフォローを行う。

中央会費制度に伴い、新たに参画する組織に対して、連合本部方針を踏まえた対応をはかる。

②地協活動の強化

「地協代表者会議」や「地協三役意見交換会」などを開催し、地協間の活動内容を共有するなかで、地協活動のさらなる充実をはかる。

③労働組合におけるジェンダー平等参画の取り組み

連合愛知ジェンダー平等参画推進計画「ACTION PLAN AICHI-IV」フェーズ2の中間目標である『2027年10月までに構成組織および加盟組合の女性役員1名以上』を達成するため、選出が難しい組織への訪問や構成組織等が実施している役員選出に向けたセミナーなどの好事例を共有する。また、女性リーダーや連合愛知女性役員のネットワークづくりを目的とした意見交換会を実施する。

④労働運動を担う人材育成

(次世代リーダー)

CNG委員会を通じて、若年層の組合員が、社会を取り巻く諸課題について主体的に考え行動し、労働運動をけん引する力を身につける活動に取り組む。

(新任組合役員)

組合役員として知っておくべき労働法や労使交渉に必要な基礎知識を学ぶ場としてセミナーを提供する。

(政治活動推進者)

政治活動を強力に推進できる組合役員の育成として、「政策実現塾」を開講する。開催頻度を見直し2年に1度とする。また、政策実現塾を開催しない年に組合役員を対象とした研修会を行う。

⑤東海ブロックとの連携

連合の重要課題を地方から推進するため、東海ブロック内での連携をはかるとともに、連合東海ブロック連絡会の代表幹事県として、連合中央執行委員会などの場で意見反映に努める。

(2)賃金・労働諸条件の向上と中小企業の基盤強化

①春季生活闘争の取り組み

中小労組の春闘交渉を支援することを目的に、中小共闘センターを設置し、交渉に向けた情報発信や知識習得の場を提供していく。さらには、経営者団体に対し、春季生活闘争における労使の主張や働き方に関わる課題の共有などの働きかけを行うとともに、行政とも連携し持続的な賃上げの実現に向けた取り組みを進める。また、春季生活闘争期の機運を高め、広く社会に発信するため「春季生活闘争1万人総決起集会」を開催する。要求・回答状況を組織内外にタイムリーに発信するとともに、愛知県内の未組織労働者を含むすべての労働者の賃上げへ波及させる。

(3)愛知県中央メーデー

メーデーは働く者の祭典として、意義や歴史を確認するとともに、働く者の主張を広く社会にアピールすることを目的に開催する。

(4)文化・レク事業

家族参加型イベントとして、あいちウィークに合わせて貸切公演を開催する。また、地域文化の振興とクラシックに触れる機会を提供するため、名古屋フィルハーモニー交響楽団による「連合愛知クラシックコンサート」を開催する。

(5)各種団体との連携

(事業団体との連携)

労働者福祉の充実に繋げるために、愛知県労働者福祉協議会・東海労働金庫・こくみん共済coop・愛知県労働者福祉基金協会と情

報を共有するなど連携をはかる。

(安全衛生センター・シニアクラブとの連携)

すべての働く人々の安全と心身の健康をめざし、安全衛生センターと連携し取り組みを進める。

高齢者が健康で安心して暮らせる社会の実現に向けて、要請行動や学習会、各種会議、定期総会など、シニアクラブのサポートを行う。

(自主福祉活動の推進)

すべての労働組合役職員が安心して活動に従事できるよう、愛知県労働組合役員共済制度の周知に努める。

2. 誰一人取り残されることのない社会づくり

すべての働く仲間をまもり、つなぐための集团的労使関係の追求と社会連帯を通じた人権・平和・社会貢献に取り組む

(1)仲間を増やす取り組み

①第8次組織拡大中期計画の実践

健全な労使関係の構築をめざした第8次組織拡大中期計画の後半期を迎える。スローガンである“みんなで推進！8万人の仲間づくり”を実践するため、産別組織・地域協議会全体が関わりを持ち、あらゆる接点を通じて仲間づくりにつなげる取り組みを行う。2年間の基本方針に「新規・継続・拡充」を掲げ、「継続」では組織強化に資する取り組みを中心に展開を図る。また、実務者研修や学びのセッションを通じた教育はもとより、仲間づくりをより推進するため、各組織に対して有効的な企画を提起していく。

※仲間づくり目標

2026年度(Cue期間1年目) 8,000人以上

2027年度(Cue期間2年目) 8,000人以上

②労働相談センターの取り組み

悩みを抱えている労働者に寄り添い、課題解決の適切なアドバイスを行っていく。相談を通じて労働組合を立ち上げることが必要だと判断される案件について、積極的な個別面談につなげる。

年3回実施される「全国一斉集中労働相談ホットライン」へは本部に連動し取り組むとともに、独自のホットラインも展開する。

(2)多様性が尊重される職場・社会の実現

性別・年齢・国籍・障がいの有無・就労形態などに関わらず、誰もが多様性を認め合い、互いに支えあう公正な職場・社会の実現のため、ジェンダー平等と真の多様性の尊重、ハラスメントの根絶に向け、職場環境の改善のほか審議会において行政への働きかけに努めていく。

(3)政策実現に向けた取り組み

①政策要望書の策定と行政・自治体への要請

2年に1度となる「連合愛知政策指針」の改定を行うとともに、愛知県と厚生労働省愛知労働局へ提出する「2026-2027年政策要望書」を策定する。策定にあたっては、政策委員会を軸にあいち民主県議団との連携をはかりながら進める。

地域政策推進フォーラムは、これまでの要望策定に重きを置いた開催時期・形態から、実現した政策の周知・報告に重きを置く開催時期・形態へ変更する。

②各級議員との連携

政策実現に向け、政策推進議員、推薦国会議員および新政あいちとの連携を引き続きはかる。また、各自治体の首長に対し公契約条例や中小企業振興基本条例制定などの政策実現の働きかけを行う。

政策推進議員を通じて地域の困りごとを解決する「暮らしの相談活動」の取り組みを継続する。

③各種選挙・投票率の向上

各種選挙において、連合愛知推薦候補者の当選に向け、構成組織・地協が一体となって取り組む。政策制度実現のための重要な基礎データとなる在住者数調査を実施するなど、2027年施行の統一地方選挙に向けての準備を進める。

「組織・組織内議員連絡会」を開催し、擁立組織と支援組織の関係強化をめざす。また、連合愛知の総合力を高めるため、地協ブロック制による地協間の連携を深める。

投票率向上に向けて行政への働きかけを行うとともに、棄権防止活動に取り組む。また、政治への関心を高めるための広報活動を行い、投票の必要性についての理解に繋げる。

(4)ディーセント・ワークの実現

①最低賃金の取り組み

地域別最低賃金については、すべての労働者のセーフティネットであることから最大限の引き上げに向けて取り組む。特定(産業別)最低賃金については、その産業で働くすべての人の賃金向上を目的に、産業の優位性を維持できるよう当該の構成組織と連携して取り組みを進める。改正された金額については、行政機関と連携し、愛知県内に周知する。

②労働審判員の選出

個別労働紛争を迅速かつ適正に解決することを目的に労働審判員を選出する。また研修や情報交換などを通じて、個々人のスキルアップをはかる。

(5)連合運動を広める効果的な取り組み(連合アクションを含む)

ホームページやソーシャルメディアを使った広報活動に軸足を置き、発信力の強化に努める。

街頭宣伝行動は、連合運動の周知を目的に地協と連携し県内全域で実施する。

(6)地域社会貢献活動の推進

①連合助け合い運動・世界寺子屋運動の取り組み

児童養護施設の支援については、子どもたちの成長に併せた関係づくりに取り組み、施設を巣立った子どもたちが気軽に相談できる体制を検討し、継続支援につなげる。

愛知県内の福祉施設や子ども食堂等、地域で支え合う事業を支援するため、「連合愛知助け合い運動」募金活動を継続展開し、募金目標額(組合員1人あたり100円以上)の達成をめざして取り組む。

新興国の識字率向上の一助として、書き損じはがきや各種金券を集約する世界寺子屋運動「書き損じはがき+キャンペーン」に継続して取り組む。両取り組みについては、全ての構成組織が参画す

るように働きかける。

②フードドライブ活動の推進・ここあファームの取り組み

フードドライブ活動は通年取り組み、メーデーが行われる4月～5月を強化期間とする。また、全ての構成組織が参画するように働きかける。

ここあファーム(津島・Hazu)の活動は、フードバンクへの農作物の提供や障がい者の就労支援、子どもたちの食育につながる農業体験イベントの開催に引き続き取り組む。また「ここあファーム Hazu」を通じて地域活性化につなげていく。

③「地域に根ざした顔の見える運動」における新たな活動の推進

働く人や地域の頼りになる存在をめざし、地域の活性化や地域の課題解決に向けた取り組みの一層の充実に努める。本取り組みは各地域の特色を活かしつつ、地域からの共感が得られる活動に汗をかくことを要点とする。

また、商工会をはじめとする各種団体と定期的意見交換を行い、連携を継続強化する。

④大学寄付講座による労働教育

大学生に向けて、働くことやワークルールのほか、多様な働き方や労働組合の役割などに関する知識習得の場として、愛知県立大学にて寄付講座を開講し、構成組織および関係団体の協力を得ながら講座を実施する。

⑤大規模災害への備え・災害ボランティア

愛知県や愛知県社会福祉協議会など関係組織との連携強化を進めるとともに、各地協においては、発災時に備えて、各市町村社協と連携を図る。また、災害ボランティアについては、連合本部や東海ブロックなどの要請にもとづき対応する。

(7)社会連帯を通じた人権・平和運動、国際連帯の推進

(平和運動)

戦争の実相を学び次代に継承するため、連合が取り組む平和4行動(沖縄・広島・長崎・根室)に参加するとともに、「平和パネル展」を開催し、戦争や核兵器の恐ろしさを社会に広く伝えていく。

(人権運動)

部落解放愛知県共闘会議の活動に参画し、あらゆる差別をなくし人権を守るため、研修会などに参加する。

(国際連帯の推進)

労働文化交流協定にもとづき中国江蘇省総工会との交流に向け準備を進める。また、連合本部や国際関係団体と連携した取り組みを推進する。

(8)社会対話の推進

社会や労働に関する様々な課題を解決と導くために、経済団体やNPOなどと、社会対話を通じた相互理解、課題解決に積極的に取り組んでいく。

「もしも」に備え
「もしも」を防ぎ
「もしも」に向き合う。

公式キャラクター
ピットくん

たすけあいの輪をむすぶ
こくみん共済(全労済)

「こくみん共済」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心と暮らしの豊かさを支えることを目指しています。この精神に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

ぼくらは旅をする。
小さなことを積み重ねて。

「ロッキーの冒険」を
動画でみる

健康・安心・貢献
東海ろうきん

東海ろうきんのキャッシュカードなら他行 ATM の
ご利用で手数料がかかった場合も
提携先 **ATM 利用手数料**
即時全額キャッシュバック! ※お引出し手数料・
時間外手数料・休日手数料

給与・年金等のお受取りは**東海ろうきん**で
東海ろうきんのキャッシュカードは、全国のろうきんはもろろん、以下の提携先ATMでご利用いただけます。

24時間ご利用いただけます*

セブン銀行 **イネット** **ローソン銀行**
LAWSON BANK

お引出し **ご入金** **残高照会**

(イネットATMの主な設置場所)

FamilyMart **Daily**

その他に利用
いただける
提携先ATMに
ついてはこちら

※毎月第1、第3月曜日の2:00~8:00は、ご利用いただけません。また、システムメンテナンス時はご利用いただけません。

ATMのご利用時間、取扱い可能なお取引は設置金融機関や設置場所により異なる場合があります。詳しくは各金融機関および運営会社のホームページをご覧ください。

2024年4月1日現在

お問い合わせは **東海ろうきん お客さまセンター**
0120-226616 平日9:00~17:00
(土・日・夜間を除く)

東海ろうきんホームページ
<https://tokai.rokin.or.jp>
東海ろうきん 検索

スマホで
アクセス!



第2号議案

2026年度 一般会計予算(案)

収入の部				(単位:円)
科	目	予算額	比率(%)	摘要
会	費	185,116,100	23.42	連合愛知会費(2025.9~12)
交	付金	437,726,540	55.38	地方交付金、オルガナイザー交付金
雑	収入	11,950,000	1.51	連合労働相談センター中日本運営費・受取利息等
固定資産等見返正味財産取崩収入		1,840,383	0.23	減価償却費相当額
前期繰越金		153,714,006	19.45	前年度決算剰余金より繰り入れ
合	計	790,347,029	100.00	
支出の部				(単位:円)
科	目	予算額	比率(%)	摘要
人	件費	242,530,000	30.69	
	賃金	212,160,000	26.84	産別還付金、月例賃金、一時金、行動費
	法定福利費	16,380,000	2.07	社会保険料事業主負担分、労働保険料、事業主保険料
	通勤交通費	11,200,000	1.42	専従従業員、地協専従従業員交通費
	厚生費	2,790,000	0.35	健康診断 その他
委	託費	38,480,000	4.87	
	労働相談センター	8,120,000	1.03	労働相談センター業務委託費
	安全衛生センター	13,850,000	1.75	安全衛生センター業務委託費
	その他委託費	16,510,000	2.09	公認会計士、社労士、顧問弁護士、連合労働相談センター中日本業務委託費
事	務所費	25,060,000	3.17	
	事務所使用料	12,600,000	1.59	会館使用に伴う費用
	施設維持費	12,460,000	1.58	会館共益費・駐車場代・コピーチャージ料等
総	務費	39,720,000	5.03	
	事務用品費	1,300,000	0.16	コピー用紙、封筒、文具事務用品費用
	車両関係費	11,140,000	1.41	自動車リース料、修理・点検費用
	OA関係費	16,270,000	2.06	OA機器リース料、サイト管理・システム保守費用、ZOOM等各種ライセンス費用、点検修理費用等
	通信費	5,020,000	0.64	電話、ファクシミリ、郵便・宅配便費用、Wi-Fi関係費用等
	資料費	570,000	0.07	参考図書、新聞購読費用
	印刷費	20,000	0.00	年賀状費用
	渉外費	5,000,000	0.63	慶弔関係、渉外費用
	手数料	100,000	0.01	振込費用
	雑費	300,000	0.04	茶菓、救急用品、清掃用品費用
旅	費	8,900,000	1.13	
	一般旅費	8,900,000	1.13	一般旅費
会	議費	22,810,000	2.89	
	大会費	8,610,000	1.09	大会関係費用
	常任執行委員会費	2,000,000	0.25	常任執行委員会(持出含む)費用
	執行委員会費	5,200,000	0.66	執行委員会(持出含む)費用
	諸会議費	7,000,000	0.89	各局会議室利用料、会議諸費用
部	門活動費	45,280,000	5.73	
	総務・財政関係費	8,480,000	1.07	総務全般、総務委員会、県との労働問題懇話会、労働審判員関係
	仲間づくり支援関係費	5,880,000	0.74	仲間づくり支援委員会、実践研修会、組織拡大支援金組合つくろうキャンペーン関係
	組織関係費	2,100,000	0.27	構成組織関係、部門連絡会関係
	政治関係費	1,620,000	0.20	政策実現塾、政策懇談関係
	広報・教育関係費	11,500,000	1.46	CNG委員会、広報紙、メディア広報、街宣行動寄付講座関係
	労働条件関係費	1,490,000	0.19	中小・労働条件委員会、最低賃金関係、経営者団体関係
	政策関係費	1,800,000	0.23	政策委員会、地域政策推進フォーラム、政策要望、労働政策関係
	社会運動関係費	5,780,000	0.73	社会運動委員会、クラシックコンサート、ここあファーム関係
	国際関係費	2,000,000	0.25	江蘇省総工会訪日団受入れ
	ジェンダー平等・多様性推進関係費	4,630,000	0.59	アクションプラン推進、シニアクラブ関係
地	域組織関係費	149,610,000	18.93	
	地協交付金	99,090,000	12.54	地協交付金
	専従者交付金	45,600,000	5.77	地協専従者交付金
	会議・諸活動費	4,920,000	0.62	地協代表者会議、事務局長会議、地協職員研修会
運	動行事費	33,600,000	4.25	
	春季生活闘争関係費	7,540,000	0.95	総決起集会、連合白書等
	メーデー関係費	19,010,000	2.41	中央メーデー諸費用、地協メーデー交付金
	運動費	7,050,000	0.89	平和行動、助け合い運動
団	体負担金	8,440,000	1.07	
	労働協	5,100,000	0.65	
	東海ブロック	800,000	0.10	
	勤労者スポーツフェスティバル	600,000	0.08	愛知県主催の勤労者スポーツ
	ハートフルセンター	500,000	0.06	勤労者およびその家族の福利厚生サービスをサポート
	社会運動家顕彰委員会	380,000	0.05	社会運動貢献者を顕彰する会
	世界人権宣言愛知県実行委員会	200,000	0.03	人種差別撤廃に取り組む団体
	名古屋フィルハーモニー交響楽団	200,000	0.03	愛知県を中心としたオーケストラ
	部落解放愛知県共闘会議	120,000	0.02	部落解放に取り組む労働組合を中心とした団体
	中部生産性本部	100,000	0.01	
	名古屋NGOセンター	100,000	0.01	貧困・紛争・環境破壊等社会問題解決に取り組むNPOの支援団体
	セカンドハーベスト名古屋	100,000	0.01	フードバンク活動に取り組むNPO 2021年度~
	労働協	50,000	0.01	就労の支援および勤労者の働く環境の改善に寄与する団体
	産業雇用安定センター	50,000	0.01	
	東三河フードバンク	50,000	0.01	フードバンク活動に取り組むNPO 2022年度~
	日本高齢・退職者団体連合	40,000	0.01	
	レスキューストックヤード	30,000	0.00	災害被災地のボランティア活動に取り組むNPO
	ピースあいち	20,000	0.00	平和・反戦運動など平和関連資料館を運営
固定資産購入支出		0	0.00	
減価償却費		1,840,383	0.23	什器備品:シュレッダー、アンプ、放送設備ソフトウェア:IT集約システム ※定額法による償却
予備費		174,076,646	22.03	
合	計	790,347,029	100.00	

自2025年9月1日 至2026年8月31日

第2号議案

2026年度 特別会計〔政策活動資金会計〕予算(案)

収入の部					(単位:円)
科	目	予算額	比率(%)	摘要	
雑	収入	50,000	0.24	受取利息等	
前	期繰越金	20,741,954	99.76		
合	計	20,791,954	100.00		
支出の部					(単位:円)
科	目	予算額	比率(%)	摘要	
広報費(広報・教育)		5,140,000	24.72	街宣グッズ等	
広報費(政策)		0	0.00		
広報費(政治)		6,250,000	30.06	組織内議員連絡会・政策研究集会等	
雑	費	50,000	0.24	資料整理、振込手数料等	
次	期繰越金	9,351,954	44.98		
合	計	20,791,954	100.00		

2026年度 特別会計〔組織支援基金会計〕予算(案)

収入の部					(単位:円)
科	目	予算額	比率(%)	摘要	
雑	収入	200,000	0.20	受取利息等	
前	期繰越金	98,142,670	99.80		
合	計	98,342,670	100.00		
支出の部					(単位:円)
科	目	予算額	比率(%)	摘要	
会議室使用料		6,000,000	6.10		
旅費(定期大会・総会)		3,700,000	3.76		
旅費(セミナー)		1,200,000	1.22		
研修費		910,000	0.93	有償セミナー受講料	
イベント費		10,400,000	10.58	貸切公演	
雑	費	50,000	0.05		
次	期繰越金	76,082,670	77.36		
合	計	98,342,670	100.00		

2026年度 特別会計〔地域社会貢献基金会計〕予算(案)

収入の部					(単位:円)
科	目	予算額	比率(%)	摘要	
雑	収入	100,000	0.19	受取利息等	
前	期繰越金	52,739,643	99.81		
合	計	52,839,643	100.00		
支出の部					(単位:円)
科	目	予算額	比率(%)	摘要	
イベント費		2,100,000	3.97	ここあファーム津島・Hazu(児童養護施設の子どもたち向け)愛母連フードドライブ	
委託費		6,930,000	13.12	ここあファーム(津島・Hazu)・運営費	
雑	費	150,000	0.28		
次	期繰越金	43,659,643	82.63		
合	計	52,839,643	100.00		

自2025年9月1日 至2026年8月31日

第3号議案

規約・規則の一部改定(案)

1. 日本労働組合総連合会愛知県連合会規約

(1)改定の主旨

- ①連合愛知の定期大会は、連合愛知規約第16条に基づき年1回開催しているが、今後は定期大会を2年に1回の開催とし、非改選年である中間年を「地方委員会」として開催するため、定期大会の開催および地方委員会の権限等を見直し、2026年10月28日より開催する。
- ②2026年1月以降の連合本部から地方連合会へ交付される「中央会費制度」への移行に伴い、用語の削除(会費納入)・特別参加組織の明文化・字句修正など本部規約にあわせ改定する。

(2)改定条文案

ホームページ会員用コンテンツを参照(右 二次元バーコード)

2. 地方委員会運営規則

(1)改定の主旨

地方委員会の議案の取り扱いについて、定期大会の議案の取り扱いと同様にする。

(2)改定条文案

ホームページ会員用コンテンツを参照(下 二次元バーコード)

